

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	1 新庁舎建設の進捗状況について	<p>先の9月議会での一般質問で市長は、菱刈庁舎に教育委員会を残すと明言された。6月には基本設計が出来る予定であったが、ふれあいセンターの改修費を含めた経費が市長のイメージより非常に多額になったことにより基本設計を見直す。そのことにより、建設工事が遅れる、との説明であった。市民からは「どうなっているのか。」と多くの声を聞く。9月議会後すでに3か月が経過しようとするが、現在の進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 教育委員会が菱刈庁舎に残ることで、新庁舎での職員数も計画当初より減少すると思うが、新庁舎の執務室についても削減できる見込みがあるのか。削減できるとするならば庁舎面積は縮小できるのか。</p> <p>(2) 現在、すでに家屋の解体工事をされている状況もある。土地や家屋等の用地買収計画は順調か。</p> <p>(3) ふれあいセンター改修と合わせた新庁舎建設費が多額となり、先の答弁では分けて計上するとのことであったが、検討されたのか。そして、新庁舎建設費が削減できるのか。</p> <p>(4) 基本設計・実施設計はいつ頃提示される見込みか伺う。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	2 特別支援学校誘致について	<p>(1) 特別支援学校誘致については、ひまわり福祉会の富永あつ子さんを中心となり、署名活動等の誘致活動に尽力されてから長い年月が経った。結果的には出水市に決定し、現在、出水養護学校には小・中・高等部に、湧水町を含めると約60名が毎日1～2時間かけてバス通学をしている。出水養護学校への通学道路は峠道のカーブも多く、雪や大雨の悪天候時には登校できない。また、学校で体調を崩すこともあり、迎えに行く保護者の負担も大きい。これらのことを踏まえ、保護者の方々は平成28年2月に「伊佐市に新しい特別支援学校をつくる会」を発足させ、これまで伊藤元知事、三反園前知事、そして令和3年2月には約2万人の署名を添え、伊佐市長、湧水町長、議会と共に塩田知事に要望された。先日行なわれた「知事とのふれあい対話」でも保護者の方々の切実な実情を訴え、知事も充分理解されていると実感した。その日に知事と懇談されたと思うが反応はどうだったのか伺う。</p> <p>(2) 特別支援学校誘致について知事は、9月県議会の一般質問の答弁に「県教育委員会に対し、分校設置などの手段を含めて早急に検討するよう求めている」と答弁され、誘致活動の取材を続けてこられた南日本新聞記者の記事からも一歩前進というか驚きの声が伺え、知事の発言の重みについて掲載された。このことについて市長としてどう捉えているか伺う。</p> <p>(3) 今回、「知事とのふれあい対話」の前に湧水町議会からも是非一緒に活動していきたいとのことで、伊佐市議会・湧水町議会の代表、両市町の保護者、子ども発達支援センターの職員の方々を含め、「特別支援学校誘致協議会」を発足させ、11月13日に2回目の会議を開催し、行政と共に活動していくことを決議したところである。 行政のバックアップなしでは前に進まないと感じる。今後の活動への市長の見解を伺う。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員		(4) 特別支援学校誘致のための伊佐市の体制はどうなっているのか。 (5) 保護者の想いは一日でも早く、というものである。市長はどのような特別支援学校を描いているか伺う。	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	森田 幸一議員	1 伊佐市独自の給付型奨学金制度創設について	<p>(1) 大口高校生徒への大学進学奨励金交付事業については平成26年度から、国公立大学及び一定のレベルの私立大学合格者に30万円、旧帝大及び同等のレベルの私立大学合格者に100万円を進学奨励金として交付してきたが、この制度には多方面から賛否両論ある。この制度を今後どのように見直す考えか伺う。</p> <p>(2) 伊佐市内に居住し、大学等に進学する者の奨学金の貸付状況を伺う。(市内3校と市外高校の令和元年度、令和2年度)</p> <p>(3) これまで市が奨学金を貸付し大学を卒業した者で、卒業後本市に居住した人数を伺う。</p> <p>(4) 奨学金を貸付し大学を卒業した者が、本市に居住し、かつ本市内外に就労した場合給付型奨学金制度を創設できないか。</p>	市長 教育長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	森田 幸一議員	2 高齢者等買い物弱者への対応策について	<p>地方の過疎化や小規模小売店の減少、高齢による運転免許証の返納などにより、気軽に食料品等を調達できない人を「買い物弱者」等というが、統計によると全国的に、農村部だけではなく都市部でも増加している状況で、国・地方を通じ行政上の課題がある。本市においては著しく増加していると思うが、買い物弱者等が快適に生活できる対応策について伺う。</p> <p>(1) 本市で買い物弱者の実態調査は行ったのか。</p> <p>(2) 本市において買い物弱者が発生する原因及び問題点は何か。</p> <p>(3) 各自治体で実態に合った対策が行われているが、本市ではどのような対策を取っているのか。</p> <p>(4) 本市内で移動販売業者は何業者か。また、当該業者に対する本市の支援策はあるのか。行政による積極的・継続的な対策が不可欠であると思うが見解を伺う。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	村岡 強志議員	1 豪雨災害について	<p>(1) 7月10日の豪雨による市内の被害規模について伺う。</p> <p>(2) 平成18年鹿児島県北部豪雨災害と今回の豪雨との違いは。また、18年災害からの改善点は。</p> <p>(3) 今回の豪雨災害で避難された方の人数は。また、避難が困難な方への対応は。</p> <p>(4) 風力発電の開発による影響について。</p> <p>(5) 今回の豪雨災害の被害の原因は。その後の対応はどう考えているか。</p>	市長	
		2 高齢者の交通関連対策について	<p>(1) 今後の高齢者の交通手段についてどう考えているか。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	<p>1 伊佐市の農地中間管理機構関連農地整備事業について</p> <p>2 伊佐市公営住宅等の方針及び管理状況について</p>	<p>(1) 現在進行中の大田地区機構関連事業の内容及びスケジュールを示せ。</p> <p>(2) 事業の共通事項の確認作業について、説明せよ。</p> <p>(3) 給水にパイプライン構想があるが、水量・維持管理方法を説明せよ。</p> <p>(4) 他の地区にも農地整備事業の計画があるのか。</p> <p>(1) 伊佐市公営住宅等長寿命化計画で「伊佐市総合施行計画」、「新市まちづくり計画」、「鹿児島県住生活基本計画」及び「鹿児島県公営住宅ストック総合計画」との整合、また国土交通省住宅局が示した「公営住宅等長寿命化計画策定指針」から、今後の市営住宅の活用や長寿命化・新築の公営住宅建設の見通しを提示せよ。</p> <p>(2) 現在の公営住宅の管理状況及び、長期的な視点に立った計画的な修繕、日常的な保守点検、経常的な修繕について説明せよ。</p> <p>(3) 5年後、10年後の市営住宅の必要戸数の推計は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	3 スポーツ施設の維持管理で定期的な補修・改修の考え方は	(1) 大口地区体育施設のテニスコートの整備・改修する考えは。 (2) 武道場の畳の現状は。また入れ替えの計画は。 (3) 野球場のナイター設備・スコアボードの整備計画はあるのか。 (4) 市営プールの改修・修理、更衣室の改修の方法は。	市長 教育長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	今村 謙作議員	1 新庁舎建設について	<p>(1) 合併推進債の延長で見直すということだが、今後どのような計画になるのか。市長の描く具体的な考えを伺う。</p> <p>(2) 菱刈庁舎は、住民へのあらゆるサービスができるようにし、また、教育委員会も残すとの計画である。また、それに加えて菱刈図書館も移すといわれるが、移す必要があるのか。菱刈図書館は現行のままでよくないか。市長の考えを伺う。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	庵下 信一議員	1 新庁舎建設について	(1) 基本設計（案）の進捗状況について (2) 既存の施設の利用は出来ないか。 (3) これまでの新庁舎建設にかかる検討会や議会提案等の経過と新庁舎完成までのロードマップを示せ。	市長	
		2 ご意見箱について	(1) 設置目的と設置年度、設置場所について (2) 橋本市長就任前3か年の意見件数と内容（分類）別件数について (3) 意見の取扱い（内容開示と投函者への回答）と市政運営への活用（参考）状況について (4) 橋本市長就任後の意見件数と内容（分類）別件数について (5) 新庁舎建設に関する意見数と内容について (6) より多くのご意見を頂くための対策について	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	武本 進一議員	1 3歳児における弱視健診を	<p>(1) 現状として、3歳児健診はどのような内容なのかを伺う。</p> <p>(2) 子どもの目は6歳までにほぼ完成すると言われている。そして健診の体制が十分でないと、弱視を見逃してしまう可能性がある。このことについて見解を伺う。</p> <p>(3) 小学校入学前に健診で見つけることで弱視の効果的な治療が可能とされるが、この点について見解を伺う。</p> <p>(4) 3歳児健診時の視力検査で、弱視を発見する屈折検査機器を導入されてはどうか。</p> <p>(5) 弱視の発見と検査の重要性について市長の見解を伺う。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	星野 元興議員	1 小学校校舎維持管理について	(1) 市内小学校校舎の多くが、耐用年数を超過しているか耐用年数間近である。しかし、「伊佐市公共建築物個別施設計画」において、今後10年間の計画期間内に計画されているのは、部位修繕と簡易補修のみである。 ア この計画で、子どもたちに十分な教育が施されるか。また、子どもたちの生命が守られるのか。 イ 今後も市内すべての小学校を維持していく考えか。	市長 教育長	
		2 大学進学奨励金交付事業について	(1) 市長は、令和3年度をもって大口高校生徒への大学進学奨励金交付事業の廃止を明言されている。 ア 大学進学奨励金交付事業について、その評価を伺う。 イ 事業廃止にあたり、在校生、在校生保護者からの理解は得られているのか。 ウ 来年度から導入を検討している新たな支援策とはいかなるものか。	市長 教育長	
		3 朝食クラブ導入について	(1) 朝食をとらない児童・生徒が近年増加している。学校での朝食支給はできないか。	市長 教育長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努 議員	<p>1 行政改革推進の現状と課題は</p> <p>2 市道管理の現状と課題は</p>	<p>(1) 伊佐市集中改革プランの基本方針として、「1. 市民に信頼され、多様な地域団体と協働する行政経営の推進」とある。また実施内容の中で、伊佐市アウトソーシング推進指針に基づき、「指定管理者制度の推進」とある。審議委員会の委員構成と協議内容を伺う。</p> <p>(2) 各年度における取組と成果で、評価において未達年度があり、具体的な取組と成果に、「新たに指定管理を設置する施設がない」としている。改革推進の整合性に欠けていると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 地方行政サービス改革の取組状況等（平成31年4月1日現在）の (2) 「指定管理者制度の導入でキャンプ場等、2施設のうち1施設が制度導入されており、残りの1施設についても検討予定である」としている。検討している内容について進捗状況を伺う。</p> <p>(4) 公営住宅等の指定管理の検討も、職員の業務効率化を図る上で重要だと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1) 市道（道路舗装・除草等）の維持管理について、幹線道路と地方その他の路線の格差が生じている。高齢化も重なり、自治会対応が困難な地域道路の、今後の維持管理対応について見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	遠矢 寿子議員	1 庁舎建設について	<p>(1) 駐車場の確保について</p> <p>ア 新庁舎敷地内及びその周辺には、来庁する市民、勤務する職員、そして議員のための駐車場は十分に確保される見込みか。</p> <p>イ 敷地取得費及び駐車場整備費は、今後提示される「庁舎建設費」に含まれていると考えてよいか。</p> <p>(2) 庁舎内カフェについて</p> <p>市長は9月議会で福本議員の質問に対し「買い物のついでに庁舎に寄ってカフェでお茶を飲みながら人々が語り合う、そんな庁舎を目指す」と答弁された。</p> <p>これに対し、「庁舎は職員が市民のために仕事をするところ。市民はカフェをつくってもらうために税金を払っているのではない」、「お茶を飲みに庁舎に行く市民はいない、一体誰のために税金でカフェを作ろうとしているのか」との意見が複数の市民から寄せられた。これらの声に対し市長はどう答えるか。</p> <p>(3) 住民との合意形成に至るための市の姿勢について</p> <p>7月、8月の市民説明会ではいろいろな意見が出た。民主主義的観点からは、賛否を問わず意見がたくさん出ることは良いことであり、建替えの必要性はほとんどの市民が認めるところである。異なる立ち位置から出発し、話し合いながらお互いに歩み寄って合意を形成していく、その過程こそが民主主義であり、多くの人が「これでいいだろう」と収まる状態をつくるのが政治であるとも言われる。</p> <p>庁舎は市民のためにあり、建設費の原資は市民の税金であるから、情報をガラス張りにして公開し、誠実に説明責任を果たしていただきたい。その上で、堂々と胸を張って異なる意見や批判を受け止め、粘り強く市民との対話を続けて合意を形成していただきたい。市はどのような姿勢で住民と向き合っていたただけるか。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	遠矢 寿子議員	2 新型コロナウイルス陽性者、濃厚接触者等に対する支援策について	<p>(1) 8月の感染急拡大時に陽性者、濃厚接触者となった方々及び同居ご家族から、「情報や物資の不足と精神的孤立に非常に苦しんだ、今後のために市としても当事者に寄り添った温かい支援体制を整えていただきたい」との声が届いている。</p> <p>第5波当時は県から市に対して情報が一切知らされず、市は市民のために動こうにも動けなかったと伺った。9月以降、自宅待機の陽性者に対しては県が1週間分の食料とマスク、消毒薬を届ける体制ができたとのことであるが、濃厚接触者は対象外、食料は保存食で、マスクと消毒薬以外の生活必需品は届かない。全国的に見ると、独自の支援に取り組んでいる自治体は少なくない。伊佐市では次の感染拡大に備えて陽性者、濃厚接触者及び同居家族に対する支援の予定や準備があるか。予定がある場合には市民への周知方法も併せて伺う。</p> <p>【寄せられた市民の声で、特に切実だったものは以下の通り。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく食料 ・年代によって異なる生活必需品 ・家庭内感染の防ぎ方についての情報及び必要な物資（ビニール手袋、消毒薬、ゴミ袋等） ・体調管理のための物品、薬品（パルスオキシメーター、解熱剤等） ・体調に関し些細なことでも気軽に尋ねられる相談先 ・精神的支援 <p>(2) 家庭内感染防止策として、陽性者及び濃厚接触者が自宅にとどまり、陰性が確認された家族は公費で一定期間ホテルに滞在できる自治体がある。伊佐市でも移住体験住宅や空いている市営住宅等の一時使用を検討してはどうか。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	遠矢 寿子議員	3 盛土について	<p>(1) 7月に静岡県熱海市で発生した盛土を起点とする土石流は死者26名、行方不明者1名、家屋被害128棟にのぼる大惨事であった。 ア 伊佐市内に宅地造成等規制法の対象となる大規模盛土造成地は何か所あるか。 イ 造成地上の家屋の居住者や近隣の住民は当該土地が盛土により造成された土地であることを十分に認識しているか。 ウ 九州全域が毎年のように豪雨に見舞われているが、盛土造成地は他の土地より土砂災害の危険があると認識し、大雨時には住民は早めに避難する必要があるのか。</p> <p>(2) 熱海市の事例のように宅地造成等規制法の対象とならない盛土は伊佐市内には何か所あるか。その所在、状況、危険度などについて調査の予定はあるか。結果の住民への周知予定も併せて伺う。</p> <p>(3) 過疎地の森林を伐採して、建設残土や産業廃棄物混じりの土砂を他県や他のまちから大量に搬入して盛土にする事例が全国的に問題化している。条例による規制のない過疎自治体や、規制があっても緩い自治体が狙われるとのことであるが、伊佐市の規制の実態及び今後の方針を伺う。</p> <p>(4) 住民の安全な暮らしの確保と、災害の不安を解消するために、行政の手で盛土について緊急の点検と対策の実施、事業者が関与している場合には必要な指導をお願いしたい。 同時に、傾斜地での太陽光発電や急峻な崖での大規模風力発電建設など、森林を伐採し、埋めたり切ったりする土を大量に出す事業そのものの規制、責任の明確化、事業と危険の内容を住民に周知する仕組みの早急な整備も必要ではないか。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち17枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	遠矢 寿子議員	4 重留多目的広場について	<p>(1) 土地取得の目的、西暦年度、取得額、昨年度までに投入された予算の累計額を伺う。</p> <p>(2) 「多目的」広場と名付けられているが、これまでどのような用途（候補地としての用途も含めて）で使われ、どのように維持されてきたか伺う。</p> <p>(3) 今年度の予算額とその内訳について。</p> <p>(4) 今後の具体的な利用予定はあるか。もし有効利用の具体的な予定がなければ、毎年多額の税金を投入し続けることに納税者の理解は得られないのではないか。市民に意見を求め、市民が維持する花畑、有料で貸し出す市民菜園や学校菜園にする、または売却を検討してはどうか。</p>	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち18枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	遠矢 寿子議員	5 持続可能な社会を目指す環境政策について	<p>(1) ごみの排出量について</p> <p>ア 現在、伊佐市では一日当たりどれくらいの量のごみが出ているのか（可燃、資源、粗大ごみ各々）。</p> <p>イ 市民一人当たり、一日及び一年間に出す家庭ごみの量はどれだけか。</p> <p>ウ それらは減少傾向にあるのか、増加傾向にあるのか。</p> <p>(2) CO2削減と環境保全のために「3010運動」などに加えて、市としてこれまで以上にできることはないか。</p> <p>【例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いさ」に毎月のごみの量、リサイクル率とその推移を掲載 ・ごみ減量目標の設定 ・ごみ分別マニュアルの充実 ・ごみの減らし方講習（学校と地域で） ・家庭生ごみ減量対策（木箱に土が入った簡易コンポスト等の地元作成及び購入補助など） ・給食センター、保育園、病院、介護施設、飲食店、宿泊施設、スーパー等の生ごみの堆肥化 ・生活に支障のない範囲でペットボトル入り飲料の購入を控える呼びかけ ・公共水飲み場の設置 ・水筒購入費補助 ・持ち帰り商品に使い捨て容器を使わない飲食店への容器代補助 ・学校における環境教育のさらなる推進 ・環境こども議会、環境若者議会、環境女性議会 ・新設公共建築物の木造化 ・新庁舎をはじめとする公共施設等の太陽光発電システム導入および省エネ・断熱化 	市長	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち19枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	遠矢 寿子議員		<ul style="list-style-type: none"> ・伊佐市内の建築事業者が建てる新築住宅への太陽光発電設備設置費、省エネ・断熱化費用補助 ・買替え時期が来た公用車のEV化、職員・議員及び市民の自家用車利用減少誘導策 ・アイドリングストップ条例制定 ・環境政策を提言することも委員会、若者委員会、市民委員会 ・環境問題に関する講演会やイベントの主催及び後援 ・森林の保全及び拡大策 ・事業者に対するCO2排出の抑制、資源の循環的な利用、エネルギーの有効利用等の要請 		

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち20枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	<p>1 暮らしと営業への支援について</p> <p>2 新庁舎建設問題について</p>	<p>(1) 原油価格の高騰で暮らしと営業が厳しくなっている生活者や事業者を支援するために行う原油価格高騰対策に、国が特別交付税措置を講じることが発表された。市として独自の支援策を行うべきではないか。</p> <p>ア 生活困窮者に対する灯油購入費の助成</p> <p>イ 社会福祉施設に対する暖房費高騰分の助成</p> <p>ウ 農業用の重油価格高騰に対する助成</p> <p>エ 地元中小企業への燃料費に対する助成</p> <p>オ 米価下落に対する支援策</p> <p>(1) 議会への説明として「コンパクトな庁舎となるよう再検討を行う」とのことだが、基本計画の「統一の庁舎として8,000㎡、40億円の規模」を見直すことも検討するのか。</p> <p>(2) 市民に向けた説明を重ねてきたが、説明会における説明内容、建設費、合併推進債の借入れ、返済額、市民に配布されたイメージ図など、どの部分を再検討するのか。まず市民に対して説明する必要があるのではないか。</p> <p>(3) 計画地内の土地所有者との交渉について進捗状況は。交渉期限をいつまでとするのか。</p> <p>(4) 合併時、菱刈庁舎と大口庁舎の取扱いについて、対等とするためどの課をどちらに配置するか難航した。最終的に議会をどちらにおくかという協議があり、菱刈庁舎に置くという選択肢も最後まであった。新庁舎に議会を置かずに菱刈庁舎に議会を置くことを検討する余地がないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第4回定例会一般質問

令和3年12月3日・6日・7日

(21枚のうち21枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	3 再生可能エネルギー発電設備の設置について	<p>(5) これまでの庁舎建設の進め方は市長自身も言われたように、秘密主義が多いという市民の問いに対し、情報が滞っているところがあるので速やかな開示に努めると表明された。再検討をするのであれば、市民の意見を取り入れるためのアンケート実施や検討内容を逐次公開するなど、これまでのやり方を改める必要があるのではないか。市長の見解を求める。</p> <p>(1) 再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消への考え方について市長の見解を伺う。 ア 農業政策として耕作放棄地での太陽光発電設置と農地におけるソーラーシェアリング推進策について</p> <p>(2) 市内のいたるところに太陽光発電施設の設置が見られるが、豪雨などで隣接する農地や道路への土砂流入の被害が相次いでいる。令和2年に策定されたガイドラインでは強制力がなく、設置者への指導を行っても実効性が担保されないため、問題解決がなされない。このことに対して条例制定などの対策強化が急がれるのではないか。</p>	市長	